

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2002-251280(P2002-251280A)

【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)

【出願番号】特願2001-47030(P2001-47030)

【国際特許分類】

<b>G 06 F</b>	<b>3/16</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 43 L</b>	<b>1/04</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/041</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>G 06 F</b>	<b>3/16</b>	<b>3 4 0 A</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/16</b>	<b>3 2 0 H</b>
<b>B 43 L</b>	<b>1/04</b>	<b>F</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/033</b>	<b>3 7 0</b>

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月28日(2008.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】所定のボード上に所定の筆記具で描画された描画軌跡に基づいて情報を表示する電子黒板装置であって、

音声を入力する音声入力手段と、

前記音声入力手段により入力された音声を認識する音声認識手段と、

前記音声認識手段で得られた認識結果の表示領域を指定する領域指定手段と、

前記領域指定手段で指定された前記表示領域に応じて、前記認識結果の表示態様を決定する表示態様決定手段と、

前記認識結果を、前記領域指定手段により指定された表示領域に、前記表示態様決定手段により決定された表示態様で表示する表示手段と、

を備えることを特徴とする電子黒板装置。

【請求項2】前記領域指定手段は、

前記音声入力手段による音声入力期間中に前記筆記具で描画された描画軌跡を含む領域を検出する検出手段を備え、

該検出手段で検出された領域を、前記音声認識手段で得られた認識結果の表示領域として指定することを特徴とする請求項1に記載の電子黒板装置。

【請求項3】前記表示態様は、前記表示領域における位置、大きさ、向き、フォント、色彩、装飾の少なくともいずれかの態様を含むことを特徴とする請求項1または2に記載の電子黒板装置。

【請求項4】前記表示態様決定手段は、

前記領域指定手段で指定された前記表示領域の高さおよび／または幅に応じて、前記認識結果の表示の大きさを決定することを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載の電子黒板装置。

【請求項5】前記表示態様決定手段は、

前記領域指定手段で指定された前記表示領域の高さと幅との比に応じて、前記認識結果の表示の向きを決定することを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1項に記載の電子

黒板装置。

【請求項 6】 所定のボード上に所定の筆記具で描画された描画軌跡に基づいて情報を表示する電子黒板装置の制御方法であって、

音声入力手段が、音声を入力する音声入力工程と、

音声認識手段が、前記音声入力工程で入力された音声を認識する音声認識工程と、

領域指定手段が、前記音声認識工程で得られた認識結果の表示領域を指定する領域指定工程と、

表示態様決定手段が、前記領域指定工程で指定された前記表示領域に応じて、前記認識結果の表示態様を決定する表示態様決定工程と、

表示手段が、前記認識結果を、前記領域指定工程で指定された表示領域に、前記表示態様決定工程で決定された表示態様で表示する表示工程と、

を有することを特徴とする電子黒板装置の制御方法。

【請求項 7】 前記領域指定工程は、

前記音声入力工程による音声入力期間中に前記筆記具で描画された描画軌跡を含む領域を検出する検出工程を有し、

該検出工程で検出された領域を、前記音声認識工程で得られた認識結果の表示領域として指定することを特徴とする請求項 6 に記載の電子黒板装置の制御方法。

【請求項 8】 所定のボード上に所定の筆記具で描画された描画軌跡に基づいて情報を表示する電子黒板装置を制御するためのコンピュータプログラムであって、コンピュータに、

音声を入力する音声入力工程、

前記音声入力工程で入力された音声を認識する音声認識工程、

前記音声認識工程で得られた認識結果の表示領域を指定する領域指定工程、

前記領域指定工程で指定された前記表示領域に応じて、前記認識結果の表示態様を決定する表示態様決定工程、

前記認識結果を、前記領域指定工程で指定された表示領域に、前記表示態様決定工程で決定された表示態様で表示する表示工程、

を実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 9】 請求項 8 に記載のコンピュータプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、例えば本発明の電子黒板装置は、以下の構成を備える。すなわち、

所定のボード上に所定の筆記具で描画された描画軌跡に基づいて情報を表示する電子黒板装置であって、

音声を入力する音声入力手段と、

前記音声入力手段により入力された音声を認識する音声認識手段と、

前記音声認識手段で得られた認識結果の表示領域を指定する領域指定手段と、

前記領域指定手段で指定された前記表示領域に応じて、前記認識結果の表示態様を決定する表示態様決定手段と、

前記認識結果を、前記領域指定手段により指定された表示領域に、前記表示態様決定手段により決定された表示態様で表示する表示手段と、

を備えることを特徴とする。